

事後評価調書

I 事業概要						
事業名	砂防等事業（通常砂防事業）					
地区名	宇連川第31支川 <small>うれがわだい しせん</small>					
事業箇所	新城市富栄地内 <small>とみさかちない</small>					
事業のあらまし	<p>宇連川第31支川は新城市富栄に位置し、人家7戸、JR飯田線、公民館及び県道富栄設楽線を保全対象とする土石流危険溪流である。</p> <p>土石流の危険性の高い溪流であり、人命などを守るため、2010年度より砂防堰堤工の整備に着手し、2016年度に完了した。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人家7戸、JR飯田線、公民館及び県道富栄設楽線を土石流から保全する。 <p>【副次目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし 					
事業費	事業費		内訳			
	2.1億円		■工事費 1.8億円、■用補費 0.2億円、■その他 0.1億円			
事業期間	採択年度	2010年度	着工年度	2011年度	完成年度	2016年度
事業内容	砂防堰堤工 1基					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>主要目標に掲げた保全対象を土石流から保全するため設置した砂防堰堤は、土石流を補足する機能を有している。現在、砂防堰堤は健全な状態を保っており、土石流に対する必要な機能を有している。</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>砂防堰堤工の整備が完了し、設置した施設に土石流対策効果が期待できるため、事業目標を達成している。</p>				
	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>該当なし</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>該当なし</p>				
III 対応方針						
今後の事後評価の必要性	事業目標を達成しており、事業の有効性が認められるため、今後の事業評価は不要である。					
改善措置の必要性	事業目標を達成しており、改善措置の必要はない。					
同種事業に反映すべき事項	本事業は、標準的な事業計画、工法で施工されているため、同種事業に反映すべき事項は特にない。					